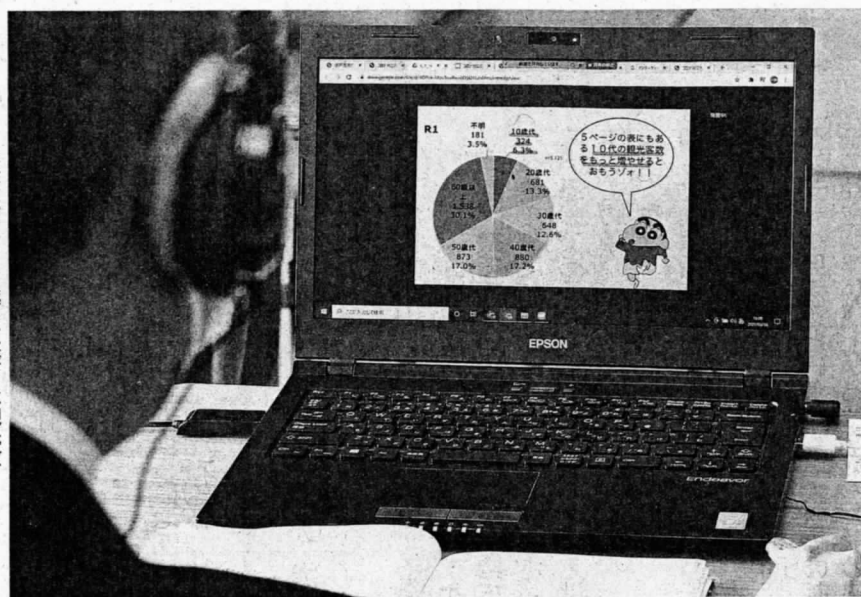
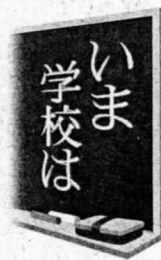


主体的に学習 市職員が講評



生徒はパソコン越しに様々な観光政策を提言した(県立坂戸西高校で)

オンラインで観光政策提案 (県立坂戸西高校)



パソコンの画面に、動画投稿サイト「ユーチューブ」の川越市公式チャンネルのデータが映し出された。「登録者数が少なく、インターネットでの発信に力を入れるべきです。話題になるような有名人を起用してみてもどうでしょうか」

3月16日午後、県立坂戸西高校(坂戸市四日市場)で、1年生の生徒がオンライン上で川越市観光課の職員に提案した。職員は「ユーチューブをあまり見ない高齢者にはどうアプローチするのか」などと生徒に質問したり、提案について講評したりしていた。

地歴公民科の加藤一郎教諭

が担当する1年生の4クラス(計約160人)では、現代社会の授業の一環として、コロナ禍を乗り越えるための川越市の観光政策について考えている。同市観光課が行った「観光アンケート調査報告書」を各生徒が分析し、観光政策をリポートにまとめたほか、有志6人が観光課の職員にオンラインで発表した。

16日の授業では、ビデオ会議システム「Zoom」を通じて同課の職員が市内観光の現状について説明した後、スライドショーを使って生徒がそれぞれ考えた観光政策を発表した。

提案の内容は様々で、SNSの活用やスタンプラリーの実施などがあった。アニメ「クレヨンしんちゃん」のキャラクターを登場させ、紙芝居のような物語形式で、人との接触を避けられるキャッシュレス決済の推進を提言する生徒もいた。

この授業で重視しているの

は、生徒自身が課題を見だし、解決策を考えて発表することだ。社会の学習は暗記が中心になりがちだが、「実践的で主体性のある学びにしたい」という加藤教諭の思いが込められている。

発表に臨んだ石崎珠羽さん(16)は「社会は苦手意識があったけど、様々な意見が出て面白かった」と語り、木村泰誠さん(同)は「自分の意見をまとめて発表するのは初めての経験だった。どうすればしっかり伝わるのか考えるのが苦労した」と振り返った。普段の授業とは異なる体験に、それぞれ充実感があつたようだ。

生徒たちは、グループ討論の後に観光課の職員に発表したかったが、コロナ禍で密集を避けるため、オンライン形式で提案を行った。長谷川靖校長は「探究活動に生徒自身が取り組み、オンラインで発表することは画期的な授業だ」と手応えを感じている。(杉木雄斗)

競輪場バンク「大宮BB」に

県は、一般公募していた大宮競輪場(さいたま市大宮区)のバンク(競走路)の愛称を「大宮Big Bank(大宮BB)」に

あった。担当者は「ギャンブルのイメージが強いことから、競輪場は入りづらい雰囲気があるが、スポーツとして

親しんでもらえるきっかけになれば」と話している。愛称決定を記念して、4月4日の一部レースで通常は入れないバンク内の観戦を実施する。定員は10人程度。詳細は大宮競輪ホームページへ。

1日長野・野沢温泉村

審判として理想とするのは、試合後に「そういえば今日の審判誰だったっけ」と言われるような目立たない存在感。しかし、この日は地元で主役級の笑顔をみせながら聖火を運んだ。走行後、「今日は特別な景色を見る

国際審判
樹さん 35

人、女性に限ると4人しかいない国際審判の認定を受けた。バスケットボールの国際審判は各国のトップリーグを担当する審判の中から選ばれ、判定技術に加えて体力や語学力も必要となる。普段は女子Wリーグに加える。

市況 青果の品名単位の数字はキロ 価格は円

青果

大宮 浦和 上尾 春日部 熊谷 秩父

埼玉流通情報協会

枝肉 1日(単位円)

【東京・芝浦】(骨付き、キロ)

	高値	安値	平均
極上	643	643	643
上	615	459	494
立	598	432	466

9 (+1)	神川町	21
2	上里町	122
5 (+1)	寄居町	120 (+2)